



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場会社名 アイホン株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6718 URL <https://www.aiphone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 康次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 和田 健

TEL 052-228-8181

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	24,388	9.0	2,208	119.9	2,149	106.4	1,539	69.6
2019年3月期第2四半期	22,370	3.7	1,004	△6.8	1,041	△5.8	907	13.4

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 1,302百万円 (5.7%) 2019年3月期第2四半期 1,232百万円 (△35.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	94.32	—
2019年3月期第2四半期	55.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	58,539	48,285	82.5
2019年3月期	57,497	47,314	82.3

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 48,285百万円 2019年3月期 47,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	24.00	40.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 8円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	48,500	4.7	2,900	6.9	2,900	1.7	2,200	△3.8
								134.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	18,220,000 株	2019年3月期	18,220,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,875,637 株	2019年3月期	1,909,567 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	16,321,686 株	2019年3月期2Q	16,310,763 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、高水準の企業収益を背景に設備投資については堅調に推移し雇用環境についても改善が続いたものの、世界的な景気の減速懸念により先行きについては不透明な情勢にあります。

当社グループを取り巻く環境につきましては、日本国内の新設住宅着工戸数は前年同期から減少いたしました。既存のインターホン設備等の更新需要は拡大いたしました。海外市場におきましては、米国は業務市場を中心にセキュリティニーズが高く、引き合いが増加いたしました。

このような状況の中で、当社グループはお客様のニーズに応えるべく、引き続き新製品の開発と積極的な営業活動を展開して業績の向上に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は243億8千8百万円（前年同四半期連結累計期間比9.0%増）、営業利益は22億8百万円（同119.9%増）、経常利益は21億4千9百万円（同106.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億3千9百万円（同69.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	会社名
日本	アイホン株式会社
北米	アイホンコーポレーション
欧州	アイホンS. A. S.、アイホンUK
タイ	アイホンコミュニケーションズ (タイランド)
ベトナム	アイホンコミュニケーションズ (ベトナム)
その他	アイホンPTY、アイホンPTE.

(日本セグメント)

国内の住宅市場につきましては、戸建住宅におきまして、リニューアルでワイヤレステレビドアホンの販売が健闘しましたが、競争激化により、戸建住宅市場全体の売上は前年同期から微減いたしました。

集合住宅につきましては、新築では当社の納入時期にあたる住宅着工戸数が前年同期からほぼ横ばいとなり、売上におきましてもほぼ前年同期並みとなりました。リニューアルでは、分譲物件におきまして2000年前後に竣工した規模が大きく仕様要求の高い物件群が、消費増税のタイミングを機会に改修需要が例年以上に増加し、納入が集中する結果となりました。またこのような状況の中、受注プロセス管理を強化し、昨年度に市場導入した「使いやすさ」や「施工性」に特化したリニューアル専用商品の営業活動を積極的に行ったことにより、販売の増加につながりました。賃貸物件におきましても、当社が過去に納入した物件においてリニューアル時期を迎える案件が増加いたしました。この結果、リニューアルでは前年同期の売上を大幅に上回り、集合住宅市場全体としても売上は増加いたしました。

ケア市場につきましては、新築では高齢者施設や高齢者住宅の販売が増加したものの、病院の新設着工件数が減少し、病院への販売が低迷したことにより売上は減少いたしました。一方、リニューアルでは受注プロセス管理の強化やソリューション営業の推進により病院、高齢者施設、高齢者住宅において販売が増加し、売上は増加いたしました。この結果、ケア市場全体といたしましては、売上は増加いたしました。

これらの結果、売上高は220億7千9百万円（前年同四半期連結累計期間比13.3%増）となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響や経費削減等もあり17億2千3百万円（同356.0%増）となりました。

(北米セグメント)

アメリカの販売子会社であるアイホンコーポレーションにつきましては、住宅市場において他社との競争が激化し、販売が伸び悩みました。しかしながら、社会的背景からセキュリティニーズがさらに高まる中、学校や公共施設などの大型物件をターゲットに積極的な受注活動を行ったことによりIPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

これらの結果、売上高は40億4千7百万円（前年同四半期連結累計期間比0.7%増）となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響等もあり1億7千2百万円（同46.5%減）となりました。

(欧州セグメント)

フランスの販売子会社であるアイホンS.A.S.につきましては、戸建住宅向けにテレビドアホンの積極的なプロモーション戦略を行ったことにより、販売が好調に推移いたしました。

イギリスの販売子会社であるアイホンUKにつきましては、IPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

これらの結果、現地通貨では前年同期比で増加したものの、為替の影響を受け、売上高は18億2千6百万円（前年同四半期連結累計期間比3.5%減）となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響等もあり4千3百万円（同16.3%増）となりました。

(タイセグメント)

生産子会社であるアイホンコミュニケーションズ（タイランド）は、当社グループ向けに製品等を生産・出荷しております。売上高は40億9千3百万円（前年同四半期連結累計期間比4.2%増）となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響等もあり1億6千万円（同19.5%減）となりました。

(ベトナムセグメント)

生産子会社であるアイホンコミュニケーションズ（ベトナム）は、当社グループ向けに製品等を生産・出荷しております。売上高は15億7千6百万円（前年同四半期連結累計期間比19.2%増）、営業利益は5千9百万円（同6.6%増）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない販売子会社といたしまして、オーストラリアの販売子会社であるアイホンPTYにつきましては、業務市場へのIPネットワーク対応インターホンシステムの販売及び集合住宅のリニューアル物件への販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。シンガポールの販売子会社であるアイホンPTE.につきましては、大型商業施設などへのIPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

これらの結果、報告セグメントに含まれない販売子会社におきましては売上高は4億7千3百万円（前年同四半期連結累計期間比2.2%増）、営業利益は2千3百万円（前年同四半期連結累計期間は営業損失2千7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 業績の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は585億3千9百万円(前連結会計年度末574億9千7百万円)となり10億4千1百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が7億2千1百万円増加、たな卸資産が2億1千6百万円増加したことによるものです。

負債は102億5千3百万円(前連結会計年度末101億8千2百万円)となり7千1百万円増加いたしました。これは主に、リース債務が5千8百万円増加したことによるものです。

純資産は482億8千5百万円(前連結会計年度末473億1千4百万円)となり9億7千万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が11億4千7百万円増加、為替換算調整勘定が1億7千8百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ7億1千万円増加し、151億4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は15億2千万円(前年同四半期連結累計期間比32.9%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益21億9千5百万円の計上があったものの、法人税等の支払額6億7千3百万円などがあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は3億4千6百万円(前年同四半期連結累計期間比293.9%増)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出5億4百万円があったものの、投資有価証券の売却による収入1億6千9百万円などがあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は4億2千6百万円(前年同四半期連結累計期間比56.0%増)となりました。これは主に、配当金の支払額3億9千1百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績と今後の市場動向を踏まえ、2019年5月8日に公表いたしました2020年3月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2019年10月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,645	16,366
受取手形及び売掛金	9,803	10,114
電子記録債権	2,122	1,840
有価証券	901	806
製品	4,302	4,525
仕掛品	1,820	1,887
原材料	3,495	3,422
その他	354	350
貸倒引当金	△68	△72
流動資産合計	38,375	39,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,037	6,052
減価償却累計額	△4,098	△4,173
建物及び構築物(純額)	1,938	1,878
機械装置及び運搬具	1,993	1,908
減価償却累計額	△1,146	△1,084
機械装置及び運搬具(純額)	847	823
工具、器具及び備品	7,533	7,500
減価償却累計額	△6,497	△6,561
工具、器具及び備品(純額)	1,036	939
土地	5,002	4,997
リース資産	138	224
減価償却累計額	△50	△78
リース資産(純額)	88	145
建設仮勘定	62	179
有形固定資産合計	8,976	8,963
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	7,065	7,208
繰延税金資産	1,662	1,685
その他	1,417	1,442
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	10,145	10,335
固定資産合計	19,121	19,298
資産合計	57,497	58,539

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	596	678
買掛金	1,789	1,605
リース債務	28	71
未払法人税等	701	708
製品保証引当金	290	257
その他	4,347	4,413
流動負債合計	7,753	7,734
固定負債		
リース債務	66	81
再評価に係る繰延税金負債	118	118
退職給付に係る負債	362	397
その他	1,880	1,921
固定負債合計	2,428	2,519
負債合計	10,182	10,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,388	5,388
資本剰余金	5,407	5,408
利益剰余金	37,640	38,788
自己株式	△3,274	△3,216
株主資本合計	45,162	46,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,865	1,776
土地再評価差額金	△438	△438
為替換算調整勘定	871	692
退職給付に係る調整累計額	△145	△115
その他の包括利益累計額合計	2,152	1,915
純資産合計	47,314	48,285
負債純資産合計	57,497	58,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	22,370	24,388
売上原価	12,327	13,271
売上総利益	10,042	11,116
販売費及び一般管理費	9,038	8,908
営業利益	1,004	2,208
営業外収益		
受取利息	21	19
受取配当金	78	78
受取家賃	24	25
為替差益	5	—
その他	36	15
営業外収益合計	166	140
営業外費用		
支払利息	2	4
売上割引	109	119
為替差損	—	56
その他	17	18
営業外費用合計	129	198
経常利益	1,041	2,149
特別利益		
固定資産売却益	7	9
投資有価証券売却益	126	41
特別利益合計	133	50
特別損失		
固定資産売却損	3	4
固定資産除却損	3	0
特別損失合計	6	4
税金等調整前四半期純利益	1,168	2,195
法人税等	260	656
四半期純利益	907	1,539
親会社株主に帰属する四半期純利益	907	1,539

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	907	1,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△211	△88
為替換算調整勘定	508	△178
退職給付に係る調整額	27	30
その他の包括利益合計	324	△236
四半期包括利益	1,232	1,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,232	1,302

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,168	2,195
減価償却費	427	446
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	83	37
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△5	△33
受取利息	△21	△19
受取配当金	△78	△78
為替差損益 (△は益)	△30	△0
支払利息	2	4
投資有価証券売却損益 (△は益)	△126	△41
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△5
固定資産除却損	3	0
売上債権の増減額 (△は増加)	144	△122
たな卸資産の増減額 (△は増加)	745	△303
仕入債務の増減額 (△は減少)	△240	△64
その他	237	76
小計	2,317	2,097
利息及び配当金の受取額	107	100
利息の支払額	△2	△4
法人税等の支払額	△157	△673
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,264	1,520
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△211	△215
定期預金の払戻による収入	412	213
有価証券の取得による支出	△98	—
有価証券の売却及び償還による収入	500	200
有形固定資産の取得による支出	△625	△228
有形固定資産の売却による収入	52	19
投資有価証券の取得による支出	△304	△504
投資有価証券の売却による収入	187	169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87	△346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△11	△34
配当金の支払額	△260	△391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△273	△426
現金及び現金同等物に係る換算差額	173	△36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,076	710
現金及び現金同等物の期首残高	12,315	14,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,392	15,104

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	16,039	3,990	1,876	—	—	21,907	463	22,370	—	22,370
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,455	29	15	3,929	1,321	8,752	—	8,752	△8,752	—
計	19,495	4,019	1,892	3,929	1,321	30,659	463	31,122	△8,752	22,370
セグメント利益 又は損失(△)	377	323	37	199	55	993	△27	966	38	1,004

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポールの現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	18,070	4,023	1,824	—	—	23,918	469	24,388	—	24,388
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,008	24	1	4,093	1,576	9,704	3	9,708	△9,708	—
計	22,079	4,047	1,826	4,093	1,576	33,623	473	34,096	△9,708	24,388
セグメント利益	1,723	172	43	160	59	2,159	23	2,183	24	2,208

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポールの現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。